

ロタウイルスによる感染性胃腸炎

1 ロタウイルスとは？

感染性胃腸炎を引き起こすウイルスの一つです。

他に、ノロウイルス・サポウイルス・アストロウイルス・腸管アデノウイルスなどがあります。

2 症状は？

ノロウイルス等と同様に、下痢や嘔吐を中心に、発熱もかなり見られます。

通常は1週間で軽快します。

3 特徴は？

ノロウイルスに比べ、乳幼児に多く見られます。

ノロウイルスと同様に、冬から春に多発しますが、例年1~4月にかけてはロタウイルスが主に流行します。

4 潜伏期間は？

1~3日程度です。

5 感染経路は？

糞口感染です。患者の下痢便や嘔吐物から、手を介して感染を広げます。

6 治療法は？

ウイルスへの特効薬はありません。対症療法で処置をします。脱水症状を避けるために、経口や非経口輸液による、水分の補給に注意してください。

7 予防方法は？

ノロウイルスと同様に、塩素系消毒薬を用います。下痢便、嘔吐物で汚染された衣服なども塩素系消毒薬で消毒後、洗濯します。また、トイレや嘔吐物は使い捨ての手袋を付けて、塩素系消毒薬でふき取ります。

下痢便で汚れたオムツは直ぐにビニール袋に入れます。複数のオムツを交換する時は、一人の処理が終わる度に手袋を取り替え、手を洗いましょう。

トイレの後や食事前は石けんで手を洗います。